

# 令和6年度

# 決算の概要

市民の皆さんが納めた税金が、どのように使われ、また、市の財政がどのような状況にあるのか、令和6年度の本市の決算をお知らせします。

決算の概要は、市ホームページにも掲載していますので、ご覧ください。

※各表内の数値は、区分ごとに表示単位を四捨五入しているため、合計値が一致しない場合があります。

担 財政課 ☎94-4862



## 1. 決算状況

### (1) 全会計(一般会計、特別会計および公営企業会計)歳入歳出(収入支出)決算総括表

本市の会計は、一般的な行政事務事業を行う一般会計、国民健康保険や介護保険などの特別会計および、下水道の公営企業会計で構成されています。各会計の歳入歳出決算額は、右の表のとおりです。

一般会計の決算では、前年度と比較して、歳入は7.6%の増加となりました。主な要因は、財政調整基金繰入金金の増や市債の増などによるものです。

また、歳出は6.3%の増加となりました。主な要因は、物価高騰対応事業費の増などによるものです。

会計名	歳入(収入)		歳出(支出)		歳入歳出差引 残額(A-B)
	決算額(A)	対前年比	決算額(B)	対前年比	
一般会計	408億6102万円	+7.6%	384億6064万円	+6.3%	24億 38万円
うち市税	172億 513万円	-0.1%	—	—	—
特別会計	198億3705万円	+0.3%	194億2948万円	+0.5%	4億 757万円
国民健康保険事業	93億4209万円	-3.4%	92億5376万円	-3.0%	8833万円
用地取得事業	1億2153万円	-0.1%	1億2153万円	-0.1%	0円
介護保険事業	85億7480万円	+2.2%	82億6002万円	+2.3%	3億1478万円
後期高齢者医療事業	17億9863万円	+13.0%	17億9417万円	+12.8%	446万円
合計	606億9807万円	+5.1%	578億9012万円	+4.3%	28億 795万円

⑩ 公共下水道事業	53億2948万円	-9.3%	58億3428万円	-8.2%	-5億 480万円
-----------	-----------	-------	-----------	-------	-----------

⑩…公営企業会計

## 2. 地方債(市債) ⑫ および基金の残高

### (1) 市債の目的別現在高

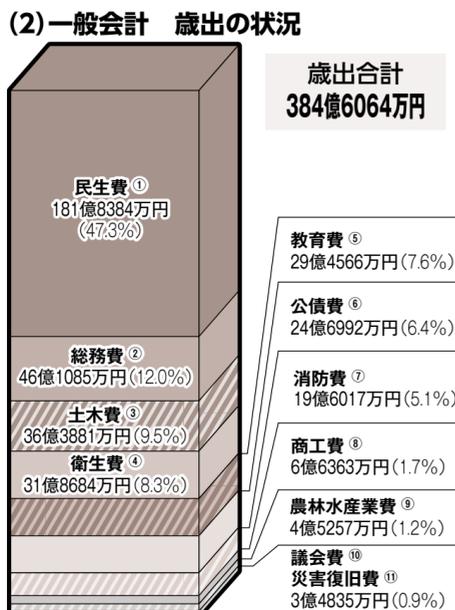
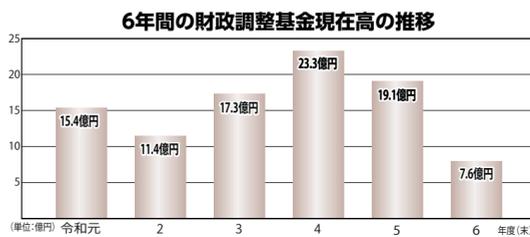
必要な市民サービスの水準を維持するため、国が定める地方債制度を活用し、必要な財源を確保しています。市債残高は、市債の償還額が借入額を上回ったため減少しました。

将来世代に過度の負担が残らないよう、引き続き慎重な活用に向けていきます。



### (2) 基金の現在高

財政調整基金⑯について、約1億円を積み立てる一方で、物価高騰対策などによる財源不足を補てんするため、約12億円の取り崩しを行いました。取り崩しを最小限に抑え、残高の確保に努めています。



### 一般会計決算を市民1人当たり換算すると...

※令和7年4月1日現在の人口、10万1057人で算出

区分	市民1人当たり	対前年増減
民生費	17万9937円	+1万2534円
総務費	4万5626円	+1881円
土木費	3万6007円	+1796円
衛生費	3万1535円	-680円
教育費	2万9149円	+3807円
公債費	2万4441円	-1019円
消防費	1万9397円	+4085円
商工費、農林水産業費、議会費ほか	1万4492円	+1684円
歳出合計	38万 584円	+2万4088円

用語解説

①民生費…児童や障がい者、高齢者などの福祉のための経費 ②総務費…住民登録、交通安全対策、選挙などのための経費 ③土木費…道路や河川、公園などの整備・維持補修のための経費 ④衛生費…ごみ処理や環境対策、健康管理のための経費 ⑤教育費…小・中学校や生涯学習、スポーツなどのための経費 ⑥公債費…市債の返済のための経費 ⑦消防費…消防、救急、防災のための経費 ⑧商工費…商業、工業、観光の振興のための経費 ⑨農林水産業費…農業、林業の振興のための経費 ⑩議会費…市議会を運営するための経費 ⑪災害復旧費…災害の被害対応のための経費 ⑫地方債(市債)…必要な財源の一部を金融機関などから借り入れるもの ⑬普通債…施設(道路、公園、消防・救急、学校など)の整備などを行うときに借り入れるもの ⑭災害復旧債…被災した施設などの復旧を行うときに借り入れるもの ⑮特別債…財源不足を補うときに借り入れるもの(臨時財政対策債など) ⑯財政調整基金…突発的な災害などの不測の事態に備え、積み立てておく資金

## 3. 財政の健全化判断基準比率などの算定結果

令和6年度決算における本市の算定結果は、右の表のとおりです。実質公債費比率は令和5年度と比べ、0.7ポイント改善しました。また、将来負担比率は、令和5年度と比べ、3.3ポイント悪化しました。各指標のいずれも国が定める基準値以内ですが、引き続き、財政の健全化に向けて取り組んでいきます。

### 令和6年度決算における健全化判断基準比率など

指標	伊勢原市の比率		令和6年度県内平均 (政令市除く16市)
	令和6年度	令和5年度	
健全化判断基準			
実質赤字比率⑰	—(黒字)	—(黒字)	—(全市黒字)
連結実質赤字比率⑱	—(黒字)	—(黒字)	—(全市黒字)
実質公債費比率⑲	6.7%	7.4%	4.7%
将来負担比率⑳	31.9%	28.6%	34.5%
資金不足比率㉑	—(資金不足はない)	—	県内に赤字の公営企業はない

用語解説

⑰実質赤字比率…一般会計について、赤字の程度を指標化したもの ⑱連結実質赤字比率…一般会計、特別会計を合計し、市全体としての赤字の程度を指標化したもの ⑲実質公債費比率…一般会計において、市債などの返済の負担が、どの程度かを指標化したもの ⑳将来負担比率…一般会計が将来負担しなければならない市債残高や債務負担など、将来支出が見込まれる負担額の程度を指標化したもの ㉑資金不足比率…公営企業(公共下水道事業会計)について、事業規模に対しての資金不足を指標化したもの

## 4. 令和6年度に実施した主な取り組み

### I 災害や危険から命と暮らしを守る強くしなやかなまちづくり(防災・安全分野)

#### 秦野市・伊勢原市共同消防指令センター整備事業

消防の広域連携を図るとともに、複雑多様化する災害に適切に対応する消防体制を構築するため、秦野市・伊勢原市共同消防指令センターにおける消防総合指令システム・消防救急デジタル無線設備の整備を2カ年(2年目)で行うとともに、監理業務を3カ年(3年目)で行いました。

### II 誰もが生涯にわたり安心して健やかに暮らせるまちづくり(福祉・保健分野)

#### 発達障がい児者及び家族等支援事業

発達障がい児の家族支援として、児童発達支援センターによるペアレント・トレーニング講座を開催し、子どもの特性や、子どもへの対応方法を知ることにより、受講者の育児負担や子育ての不安の軽減につなげました。

### III 子どもを産み育てやすく豊かな学びで未来を拓くまちづくり(子育て・教育分野)

#### 子ども家庭支援拠点整備事業

令和7年度に供用を開始した「こどもみらいプラザ」の建設工事に合わせ、子育て家庭の交流スペースや母親父親教室などの各種事業に必要な備品を整備しました。

## 5. 「伊勢原市まちづくり市民ファンド寄附金」の活用事業

伊勢原市まちづくり市民ファンド寄附金は、市が行う事業の資金に活用するための寄附金を皆さんから募ることで、まちづくりを応援していただく制度です。令和5年12月末までにいただいた寄附金を令和6年度に活用しました。

寄附の指定事業	寄附額
市民活動を活発にするための事業	204万8000円
福祉を充実するための事業	728万5000円
教育を充実するための事業	1076万3000円
公共施設を充実するための事業(小・中学校を除く)	189万円
災害復旧のため	21万9000円
使途を指定しないもの	2408万4011円
その他	1005万 582円
合計	5633万9593円

### IV 活気にあふれ地球環境にやさしいまちづくり(産業・環境分野)

#### カーボンニュートラル推進事業

「ゼロカーボンシティいせはら」を実現するための取り組みとして、EVカーシェアリング事業による電気自動車の普及啓発とともに、一般家庭向け「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)」に対する補助を行いました。また、事務事業における電気代および二酸化炭素排出量の削減のため、公共施設10施設をLED照明に切り替えました。

### V 都市基盤が整った快適で暮らしやすいまちづくり(都市基盤分野)

#### 伊勢原駅北口市街地整備推進事業

市街地再開発事業の事業計画認可および組合設立認可に向け、準備組合と連携し、再開発ビルの基本設計や都市計画道路伊勢原駅前線など公共施設の予備設計、資金計画作成など事業計画の作成を進めるとともに、関係権利者の合意形成を図りました。

### VI みんなの力で進める持続可能なまちづくり(市民・行政分野)

#### 市民文化会館施設改修事業

市民文化会館の長寿命化などを図る施設改修について、デザインビルド(設計施工一括発注)方式による工事実施に向けた、特定天井の脱落防止対策に係る実施設計や改修範囲の精査などを行いました。

#### 「伊勢原市まちづくり市民ファンド寄附金」の受入

令和6年度にいただいた「伊勢原市まちづくり市民ファンド寄附金」は、3965万2300円です。このうち、ふるさと納税分は3553万3000円です。貴重な財源として令和7年度以降に活用します。

活用事業内容	充当額
地域集会所等設置補助金(南落集合会所所改修工事など)	204万8000円
子どもの貧困対策推進事業費、すこやか園特殊浴槽等修繕、成瀬児童コミュニティクラブエアコン修繕など	698万 799円
学校給食用大型備品購入費(大田小フライヤーなど)、牛乳保冷庫(山王中、伊勢原中)	1000万8000円
中央公民館展示ホール壁および非常口手すり修繕	174万5865円
林業用施設災害復旧工事	21万9000円
学校給食用備品購入費(成瀬小)、プール漏水修繕(中沢中)、校舎雨漏り修繕(成瀬中、桜台小)など	2120万5470円
福祉避難所避難者用備品等購入補助金、未病センター用体組成計購入費、ひとり親家庭等入学支度金支給など	206万6025円
合計	4427万3159円

※充当していない1206万6434円は令和7年度以降に活用予定です

## 令和6年度 行財政改革の取組結果について

伊勢原市第6次行財政改革推進計画に位置付けられている74の取組項目の、令和6年度の取組実績がまとまりましたのでお知らせします※行財政改革推進計画やその取組状況などの詳細は、市ホームページに掲載しています

### 令和6年度 取組結果

達成状況	( )内は取組件数に占める割合
A 計画を上回る	16件( 21.6%)
B 概ね計画どおり	46件( 62.2%)
C 計画どおり進捗せず	12件( 16.2%)
D 進捗がほぼなし	0件( 0.0%)
合計	74件(100.0%)

### 実績効果額 ( )内は計画上の効果見込額

合計	13億4565万円(3億4774万円)
----	---------------------

担 デジタル行政経営課 ☎94-4846